

発達支援相談の充実

アナ： 「市長が語る 2025 三島」 第 14 回の今日は、「発達支援相談の充実」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 三島市では子育て施策に力をいれていますが、発達支援については、どのようなことに取り組まれているのでしょうか。

市長： 子育てをする中で、お子さんことでいろいろと悩み事は尽きないことと思いますが、三島市では「こども まんなか社会」の実現に向け、令和 6 年度から、こども未来課、こども保育課、発達支援課、健康づくり課、スポーツまちづくり課で構成する「こども・健幸まちづくり部」を編成し、子どもを中心に関わる全ての市民の「健康で幸せな暮らし」に向けた取り組みを進めております。

そのなかの発達支援課では、発達に関する心配や悩みをお持ちの学齢期までのお子さんとそのご家族を対象にした相談を、発達支援センターでお受けしております。

アナ： 発達に関する相談は、多いのですか。

市長： この数年間で相談件数はとても増えてきております。

相談の多くは、定期検診を終えた乳幼児期のお子さんや、幼稚園・保育園・こども園の園児の保護者の方々が、保健センターの保健師や各園の保育士さんからご案内していただいたり、自らインターネットなどで調べられて来られる方など多種多様な方法での相談の申込みをいただいております。

アナ： 相談が増えているということですが、相談業務について何か特徴はありますか。

市長： 発達支援センターでは、臨床心理士を始め、保健師や保育士、作業療法士や言語聴覚士といった専門職が相談に対応いたします。発達に関する特性を確認することで家族のなかでの関わり方などを一緒に考え、保護者の方々に寄り添った支援を心掛けております。

近年、ことばについての相談や、小・中学生の相談が多くなっていることから、今年度は、言語聴覚士の相談時間を拡大し、また、小・中学生の相談に対応する相談員を 1 名増員して相談体制の充実を図っています。

アナ： いろいろな専門の方がいることは心強いですね。

市長： そうですね。さらに、三島市では、「切れ目のない支援」を目指し、様々な専門職員を配置するだけでなく、関係各課や教育委員会、市内の支援事業所等との連携も進めており、支援に携わる方々のスキルアップに向けた取り組みも行っております。

アナ： どのようなことに取り組まれているのでしょうか。

市長： はい、支援者向けの専門講座を毎年開催しており、今年は、8月 8 日の金曜日に、三島市民文化会館大ホールにて「第 20 回三島市発達障がい・療育支援専門講座」を行います。この講座は、平成 17 年度から始まったもので、

今年で20回目を迎えます。

アナ： 「専門講座」と名前は堅苦しいですが、専門職の方々のための講座なのでしょうか。

市長： 支援者に向けた講座を基本としていますが、今年は、一般の方に向けた内容も盛り込んでおります。講師に川崎医療福祉大学の「諏訪利明（すわ としあき）先生」をお招きして、午前の部では、一般の方にもわかりやすい講座として、午後は専門職など支援者に向けての講座として、お話ししていただく予定です。

アナ： 改めて「発達支援」という言葉から勉強していく方々にもわかりやすくなっているのですね。

市長： はい。一人一人がお互いを知り、理解しあい、それぞれに特性を活かし、連携しあうことが、ウエルビーイングなまちづくりに繋がってまいりますので、皆さんぜひ講座にご参加下さい。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。

アナ： なお、「第20回三島市発達障がい・療育支援専門講座」の詳しい情報は、広報みしま7月号や発達支援課ホームページをご覧ください。
発達支援課へのお問い合わせは、電話975-1588までお願いします。